

経営比較分析表（令和4年度決算）

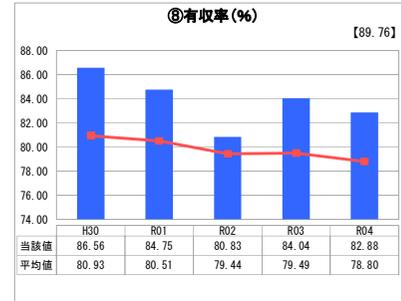
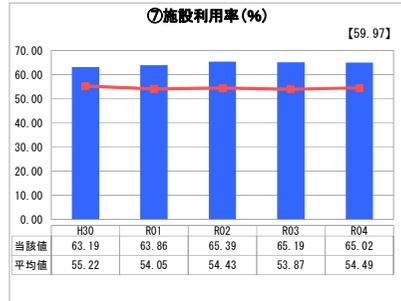
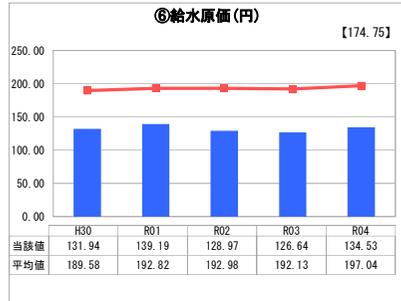
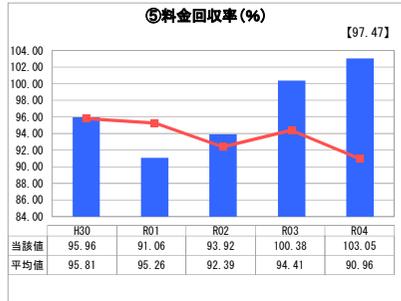
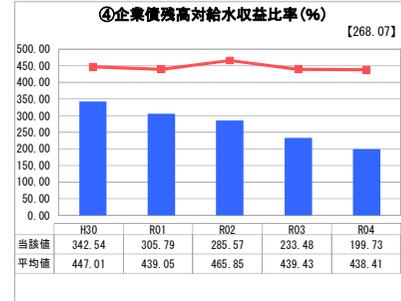
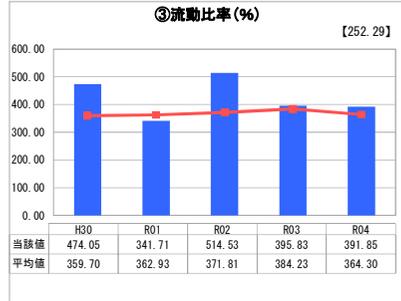
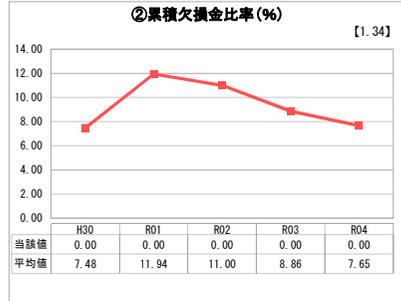
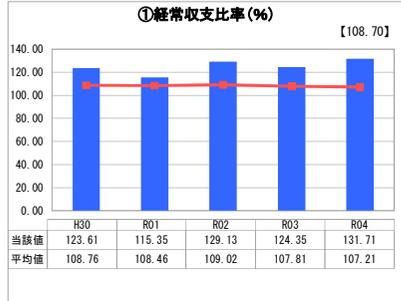
埼玉県 美里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)	
-	81.85	99.60	2,567	

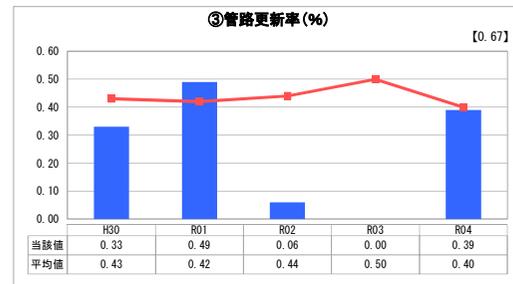
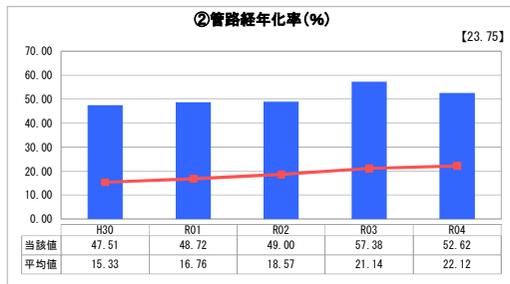
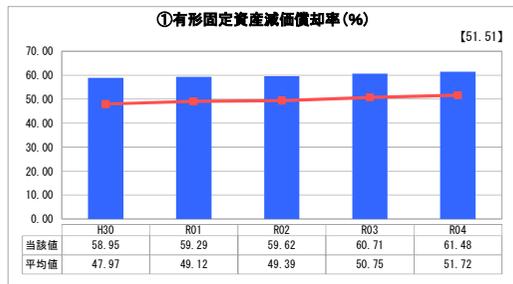
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,916	33.41	326.73
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,847	32.84	330.30

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率
料金を改定したため、前年度に比べ増加している。一般会計からの繰入金で費用を賄っているため、今後も料金の見直しを検討する必要がある。
- ②流動比率
工事などの未払金を計上したため、前年度に比べ減少している。計画的に工事の発注を実施する必要がある。
- ③企業債残高対給水収益比率
新規の企業債の借入れ以上に償還が進んでいるため、前年度に比べ減少している。今後、更新投資の増加が見込まれるため、計画的に企業債の借入れを実施する必要がある。
- ④料金回収率
料金を改定したため、前年度に比べ増加している。安定した経営を行うため、今後も料金の見直しを検討する必要がある。
- ⑤給水原価
動力費や修繕費などの費用が増加したため、前年度に比べ増加している。維持管理費の削減を検討する必要がある。
- ⑥施設利用率
施設の利用状況や規模が適正のため、類似団体平均値を上回っている。給水人口が減少傾向にあるため、施設の縮小化を検討する必要がある。
- ⑦有収率
漏水が多発したため、前年度に比べ減少している。漏水防止対策を実施する必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
財源と人員の不足によって施設や管路の更新が遅れ、法定耐用年数に近い固定資産が増えているため、類似団体平均値を上回っている。水道ビジョンに基づき、施設や管路の更新を実施する必要がある。
- ②管路経年劣化率
財源と人員の不足によって管路の更新が遅れ、法定耐用年数を経過した管路が増えているため、類似団体平均値を上回っている。水道ビジョンに基づき、管路の更新を実施する必要がある。
- ③管路更新率
財源と人員の不足によって管路の更新が遅れているため、類似団体平均値を下回っている。水道ビジョンに基づき、管路の更新を実施する必要がある。

全体総括

経営の健全性・効率性については、類似団体平均値と比較して良い結果となった。令和4年10月に料金を改定したことにより、経常収支比率や料金回収率が増加しているものの、依然として一般会計からの繰入金に依存している。収支のバランスを考慮しつつ、給水収益のみで水道事業の経営を行うため、今後も料金の見直しを検討する必要がある。

老朽化の状況については、類似団体平均値と比較して悪い結果となった。有形固定資産減価償却率と管路経年劣化率が高く、管路更新率が低いことから、施設や管路の老朽化が進行していることがわかる。今後の施設や管路の更なる老朽化に備えて、水道ビジョンに基づいた計画的な更新を実施する必要がある。

経営比較分析表（令和4年度決算）

埼玉県 美里町

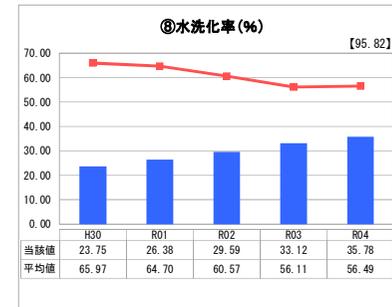
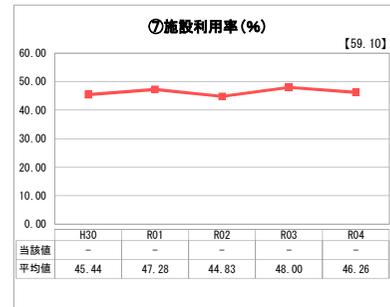
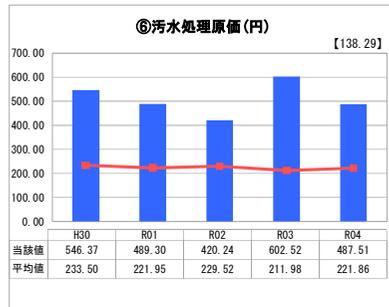
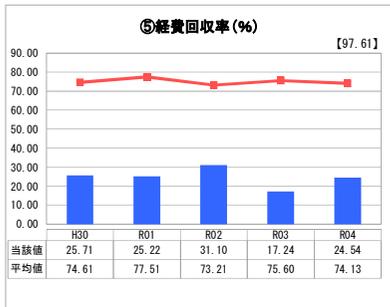
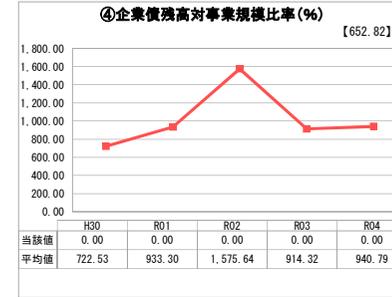
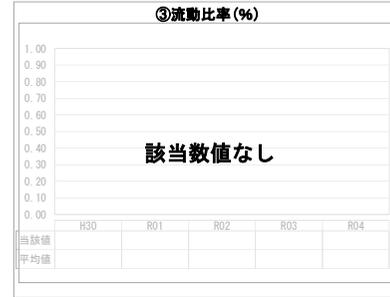
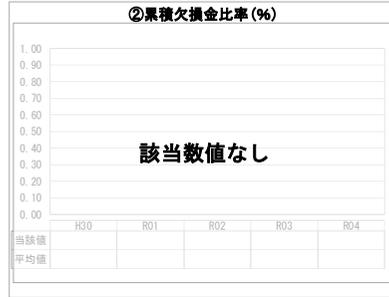
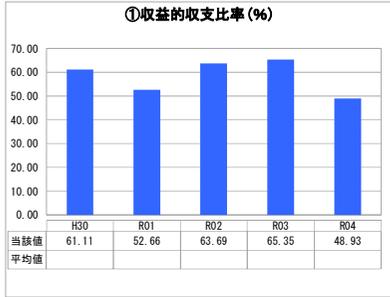
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	7.13	100.00	2,563

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,916	33.41	326.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
777	0.28	2,775.00

グラフ凡例

- 当該団体の値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
収益的収支比率は前年度に比べ悪化しているが、これは令和5年4月に公営企業法を適用したことによる打切決算の影響を受けたものである。また、令和4年10月から開始した使用料の段階的改定が令和6年4月から第2段階へ移行するため、総収益に占める使用料の割合が改善していく。

④企業債残高対事業規模比率
地方債残高の全てを一般会計で負担しているため、当該値は0となっている。

⑤経費回収率
昨年度決算に計上できなかった使用料の収入及び新規加入者の接続があり、汚水処理費の減少の影響によって経費回収率が改善している。

⑥汚水処理原価
年間収水量に大きな増減はないが、⑤経費回収率と同様に、汚水処理費の減少によって前年度と比べると汚水処理原価が減少している。

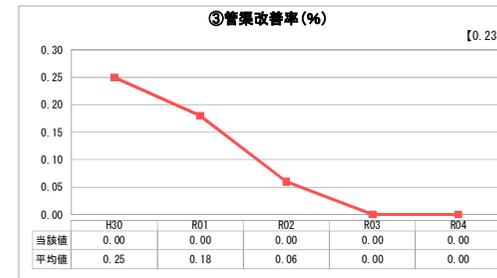
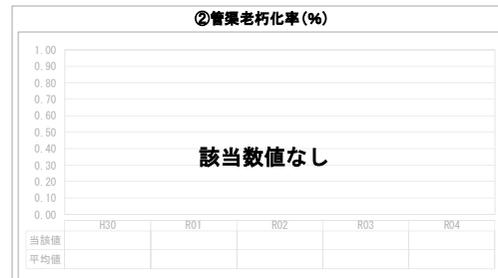
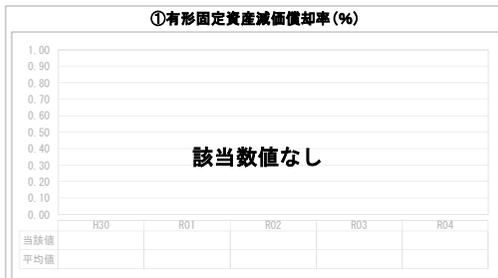
⑧水洗化率
処理区域内人口は増減しておらず、加入促進による接続件数の増加により、水洗化率が増加している。

現在、接続件数に比例して、使用料収入も少ないため一般会計からの繰入金に依存している状況である。
各項目とも類似団体と比較すると低い状況であるため使用料収入を増加させるために、引き続き加入促進に力を入れて取り組んでいく。

2. 老朽化の状況について

平成25年に供用開始しており比較的新しい管路であるため、現時点での老朽化対策は不要である。
しかし、管路の点検や人孔の腐食状況、地盤沈下等の状況確認を行うため巡回・点検を実施している。
令和5年4月から公営企業法適用のため、固定資産台帳の整備を行ったため、ストックマネジメント計画の策定、経営戦略の見直しを行っている。

2. 老朽化の状況



全体総括

下水道事業の目的である公衆衛生の向上や河川等の水質保全、良好な環境を創造する安定した事業経営を行うために、接続の推進を図り歳入の根幹である使用料の確保に努める必要がある。
また、依然として一般会計からの繰入金に依存した経営となっており、各項目の数値は、類似団体と比較すると大きな差がある状況となっている。
そのため、加入促進を積極的に行い、接続件数の増加を促進していくほか、令和4年10月から行っている使用料の改定により、使用料収入を増加させ、一般会計からの繰入金に依存した体制を改善していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

経営比較分析表（令和4年度決算）

埼玉県 美里町

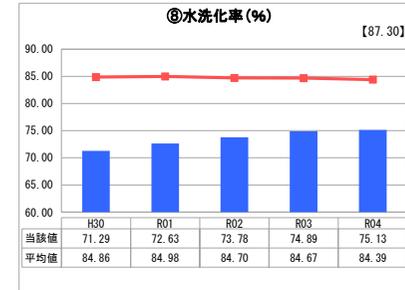
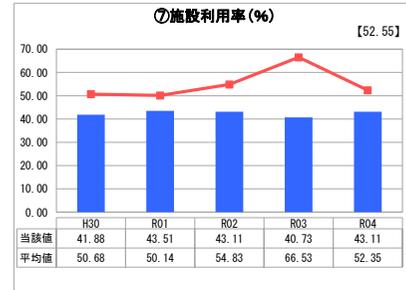
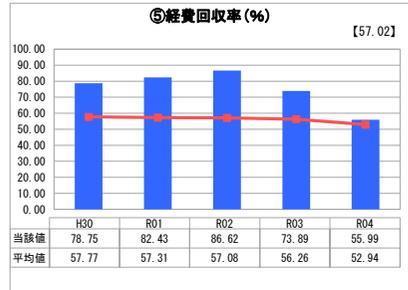
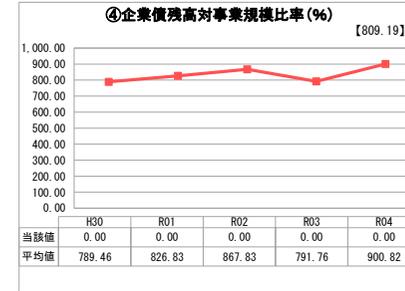
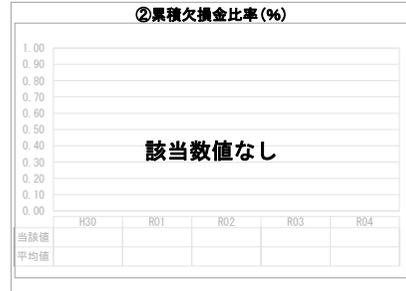
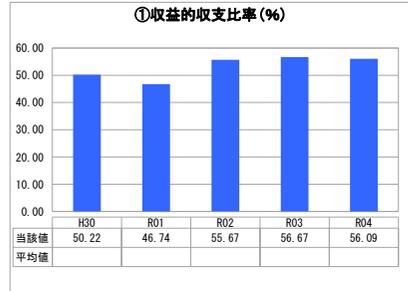
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	50.11	100.00	3,741

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,916	33.41	326.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,457	2.82	1,935.11

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
50%前後で停滞し、一般会計繰入金により補填している状況である。今後は業務の効率化と経営の健全化に努め、総収益に占める料金の割合を改善を図る。

⑤経費回収率
類似団体平均値を上回っているが汚水処理施設の修繕費等の増加により、前年度に比べ減少している。現在は、一般会計繰入金で補填している状況のため、計画的に経費回収率の向上を図る。

⑥汚水処理原価
類似団体平均値を下回っているが、処理施設の修繕費等の増加により、前年度に比べ上昇している。今後も効率的な更新や維持管理費の削減を実施する必要がある。

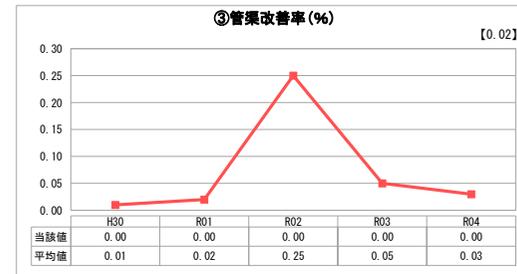
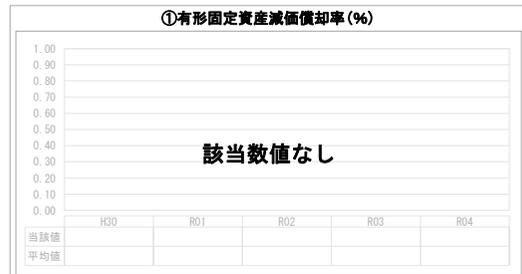
⑦施設利用率
施設使用者の加入が進まないため、類似団体平均値を下回っている。処理施設使用者は毎年微増であり、施設の縮小化を検討する必要がある。

⑧水洗化率
前年度に比べ増加したが、依然として類似団体平均値を下回っている状態である。今後、水洗化率を上げるため、施設使用者の新規加入を増やす必要がある。

2. 老朽化の状況について

該当なし。

2. 老朽化の状況



全体総括

経営の健全性・効率性については、類似団体平均値と比較して同等の結果、若しくは下回る結果となった。収益的収支比率は低下しており、依然として一般会計からの繰入金に大きく依存している。このため、収支のバランスを考慮しつつ、計画的に経営状況の改善を図っていく。汚水処理施設の修繕費が高んだため、経費回収率が下がり、汚水処理原価が上昇を招いている。今後はより最適な処理方法を検討する必要がある。また、施設や管路の更なる老朽化に備えて、財源を確保するため、維持管理適正化計画を基に農業集落排水処理施設の適正管理を図り、経営改善の実施や投資計画等の見直しをする必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均値を表示していません。